



# 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月9日

上場会社名 カシオ計算機株式会社  
 コード番号 6952 URL <https://www.casio.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 樫尾 和宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO (氏名) 高野 晋  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-5334-4852

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	133,310	5.9	10,079	16.2	11,568	5.8	8,294	5.8
2022年3月期第2四半期	125,912	21.2	12,033	185.7	12,281	168.8	8,803	68.6

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 15,326百万円 (74.7%) 2022年3月期第2四半期 8,772百万円 (100.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	34.64	
2022年3月期第2四半期	36.28	

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	349,166	226,659	64.9
2022年3月期	337,275	218,897	64.9

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 226,659百万円 2022年3月期 218,897百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		22.50		22.50	45.00
2023年3月期		22.50			
2023年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2023年3月期の配当予想額は未定であります。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	275,000	9.0	24,000	9.0	25,000	12.7	17,500	10.1	73.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無  
(注)詳細は、添付資料P.8「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	249,020,914 株	2022年3月期	249,020,914 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	9,800,334 株	2022年3月期	8,208,844 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	239,429,866 株	2022年3月期2Q	242,624,346 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、2022年5月12日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。
- 決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当上半期における内外経済は、半導体をはじめとした部品価格及びエネルギー価格の高騰、また、欧米におけるインフレ高進や、中国におけるゼロコロナ政策継続に伴う需要回復の想定以上の遅れ、さらに急激な円安の進行など、先行きが不透明な状況が続いております。

この環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、時計が797億円、コンシューマが434億円、システムが74億円、その他が26億円で、前年同期比5.9%増の1,333億円となりました。

時計は、中国において消費マインドの低下が見られましたが、「G-SHOCK」の人気シリーズ「2100」のフルメタルモデル『GM-B2100』がグローバルで人気を博すなど、売上高は微増となりました。

教育は、電子辞書は国内で販売会が中止されるなど継続してコロナ影響を受けましたが、関数電卓は販売地域のほぼ全域で対面授業が再開したことに伴う需要の取り込みがあり、増収となりました。楽器は、「Slim&Smart」モデルが引き続き好調の一方、ロシア・東欧向け販売減の影響などにより、減収となりました。

システムは、前期受注案件の納入が進み、増収となりました。

営業利益は、時計が127億円、コンシューマが27億円、システムが△15億円、その他が1億円、調整額が△40億円で100億円となりました。

また、経常利益は115億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は82億円、1株当たり四半期純利益(EPS)は34円64銭となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権や棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末比118億円増加の3,491億円となりました。純資産は、前連結会計年度末比77億円増加の2,266億円となりました。その結果、自己資本比率は64.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは36億円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは15億円の収入、財務活動によるキャッシュ・フローは87億円の支出となり、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比31億円増加の1,370億円となりました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的かつ強靱な財務体質の構築に取り組みます。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の世界経済は、グローバルには新型コロナウイルス感染症の影響からの回復は期待できるものの、中国におけるゼロコロナ政策の継続などにより、期初想定以上の市況悪化が見込まれます。

このような事業環境の下、2023年3月期の連結業績予想につきましては、時計・システムの販売計画の見直し(下方)がある一方、コンシューマの販売計画の見直し(上方)と為替影響を反映し、売上高を2,700億円から2,750億円に上方修正いたします。

営業利益は、全社構造改革の効果や経費効率化、及び売価適正化等の取り組みでカバーするものの、販売計画の見直しに伴う売上減などにより、270億円から240億円に下方修正いたします。

#### (注) 業績見直しについて

① 為替水準は1US\$=140円、1ユーロ=140円を想定しております。

② 業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	98,093	95,670
受取手形及び売掛金	27,825	32,739
電子記録債権	1,190	967
有価証券	37,000	42,000
製品	44,829	49,608
仕掛品	5,704	6,134
原材料及び貯蔵品	10,284	11,339
その他	6,462	7,219
貸倒引当金	△619	△547
流動資産合計	230,768	245,129
固定資産		
有形固定資産		
土地	33,046	33,133
その他(純額)	24,339	25,721
有形固定資産合計	57,385	58,854
無形固定資産		
	9,920	9,920
投資その他の資産		
投資有価証券	16,496	9,589
退職給付に係る資産	15,849	16,463
その他	6,885	9,240
貸倒引当金	△28	△29
投資その他の資産合計	39,202	35,263
固定資産合計	106,507	104,037
資産合計	337,275	349,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,235	19,396
短期借入金	235	205
1年内返済予定の長期借入金	8,000	12,000
未払法人税等	2,429	4,665
製品保証引当金	720	720
事業構造改善引当金	1,082	1,036
その他	39,965	41,173
流動負債合計	71,666	79,195
固定負債		
長期借入金	41,500	37,500
事業構造改善引当金	320	95
退職給付に係る負債	653	674
その他	4,239	5,043
固定負債合計	46,712	43,312
負債合計	118,378	122,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	50,137	50,123
利益剰余金	124,416	127,292
自己株式	△12,263	△14,395
株主資本合計	210,882	211,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,626	1,420
為替換算調整勘定	3,705	12,390
退職給付に係る調整累計額	1,684	1,237
その他の包括利益累計額合計	8,015	15,047
純資産合計	218,897	226,659
負債純資産合計	337,275	349,166

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	125,912	133,310
売上原価	70,791	76,575
売上総利益	55,121	56,735
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	15,342	16,890
その他	27,746	29,766
販売費及び一般管理費合計	43,088	46,656
営業利益	12,033	10,079
営業外収益		
受取利息	194	350
受取配当金	113	101
為替差益	80	1,172
その他	107	140
営業外収益合計	494	1,763
営業外費用		
支払利息	104	124
その他	142	150
営業外費用合計	246	274
経常利益	12,281	11,568
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	—	1,853
特別利益合計	3	1,854
特別損失		
固定資産除却損	14	12
事業整理損	—	1,925
特別損失合計	14	1,937
税金等調整前四半期純利益	12,270	11,485
法人税等	3,467	3,191
四半期純利益	8,803	8,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,803	8,294

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	8,803	8,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	△1,206
為替換算調整勘定	316	8,685
退職給付に係る調整額	△396	△447
その他の包括利益合計	△31	7,032
四半期包括利益	8,772	15,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,772	15,326
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,270	11,485
減価償却費	5,383	5,386
固定資産除売却損益 (△は益)	11	11
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,853
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22	△22
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△541	△564
受取利息及び受取配当金	△307	△451
支払利息	104	124
為替差損益 (△は益)	△413	75
売上債権の増減額 (△は増加)	△862	△3,460
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,477	△2,784
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,625	△1,262
その他	1,452	△1,189
小計	13,267	5,496
利息及び配当金の受取額	338	479
利息の支払額	△105	△123
特別退職金の支払額	△1,140	—
法人税等の支払額	△2,382	△2,210
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,978	3,642
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△509	△2,581
定期預金の払戻による収入	175	3,221
有形固定資産の取得による支出	△1,902	△2,573
有形固定資産の売却による収入	3	6
無形固定資産の取得による支出	△3,176	△3,511
投資有価証券の取得による支出	△3	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,000	7,030
その他	193	△78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,219	1,513
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	64	△30
自己株式の取得による支出	△4	△2,238
リース債務の返済による支出	△974	△1,093
配当金の支払額	△5,459	△5,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,373	△8,779
現金及び現金同等物に係る換算差額	844	6,779
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,230	3,155
現金及び現金同等物の期首残高	137,053	133,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	139,283	137,059

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年2月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,237百万円増加しております。

(会計方針の変更)

(ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、ASU第2016-02号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他(純額)」が465百万円、流動負債の「その他」が127百万円及び固定負債の「その他」が345百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	時計	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	78,157	38,431	6,698	2,626	125,912	—	125,912
(2) セグメント間の内部 売上高	—	0	35	4,200	4,235	△4,235	—
計	78,157	38,431	6,733	6,826	130,147	△4,235	125,912
セグメント利益 又は損失(△)	15,199	2,683	△1,001	164	17,045	△5,012	12,033

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,012百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,012百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	時計	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	79,753	43,481	7,452	2,624	133,310	—	133,310
(2) セグメント間の内部 売上高	—	—	15	2,885	2,900	△2,900	—
計	79,753	43,481	7,467	5,509	136,210	△2,900	133,310
セグメント利益 又は損失(△)	12,790	2,731	△1,585	193	14,129	△4,050	10,079

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,050百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,050百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。